

アジアの防災イノベーションとデザインに関するセミナーの開催報告

CWS Japanが事務局を務めるADRRN東京イノベーションハブ* (ATIH) では、3/15 (木) 19:00から【途上国イノベーション×デザイン「新しい視点が人道支援の形を変える」-アジア太平洋地域における先進事例】と題して一年間の活動報告セミナーを開催しました。

当日は企業、NGO、デザイナー、学生など多様な参加者が集まり、登壇者も含めて49名が参加しました。前半では事務局長の小美野が「人道支援とは何か」について説明し、続けて事務局次長兼イノベーションコーディネーターの打田からアジアの防災イノベーションに関する活動報告と事例紹介を行いました。後半では、2017年9月から2018年2月の6か月間にわたり実施されたATIHと多摩美術大学との共同プログラムを指導した大橋教授による講義とプログラムに参加した学生3名による下記の作品プレゼンテーションを行いました：

- ① 再生プラスチックを用いたシェルター用断熱材 (ネパール)
- ② 母子支援としての衛生管理システム (インド)
- ③ 地震に強い住宅 (ネパール)

セミナーのテーマは「当事者の視点から考える」ことで、ATIHがNGOの新規事業アイデアの開発を支援する過程で大切にしている視点、また、共同プログラムを通じて学生がデザインの視点で課題を捉え、解決策を考えるプロセスを比較し、防災分野におけるイノベーションを考えるうえでデザインが果たす役割について様々な議論がされました。

参加者からは「NGOの活動もデザインも被当り者による課題解決を行う点で共通点があり、考えがいのあるテーマ」、「『共感と理解』というキーワードが印象に残った」などの感想がありました。「もう少しそれぞれのテーマについて深く聞きたい」などの要望も多く、今後もアジア各国でのプロジェクトを支援しながら、進展した事例について報告する機会を設ける予定です。

(文：事務局次長 打田 郁恵)

* **ADRRN (Asian Disaster Reduction and Response Network)** は2003年に設立されたアジア地域で防災に取り組むNGOのネットワークで、事務局はマレーシアにあります。現在、20か国56団体が正会員として所属しており、2017年から4つのハブ機能を立ち上げて活動しています。CWS Japanは準会員として参加しており、イノベーションハブの事務局、運営機能を担っています。
<https://adrrninnovationhub.org/ja/>



当日のセミナーの様子

CWS Japan 日本キリスト教協議会 (NCC) 准加盟団体に

CWS Japanはこの度、3月19日に開催された日本キリスト教協議会 (NCC) 総会にて、准加盟団体として承認されました。NCC総会は、3年毎に開催されます。CWS JapanがNCCへ加盟の希望を出した時には、既に、前回の総会が開催された後だったため、それから加盟にいたるまで2、3年かかった訳です。

NCCは、日本のプロテスタント諸教派・団体間のネットワークと海外のプロテスタント教会との連絡窓口となるため設立され、今年で創立70周年を迎える日本のキリスト教会ネットワーク団体です。NCCはアジア地域を統括するアジアキリスト教協議会 (CCA: Christian Conference of Asia)、そして世界規模ネットワークである (WCC: The World Council of Churches) とつながっています。

NCCとCWS Japanとのつながりは、2011年の東日本大震災がきっかけになりました。CWSは敗戦直後、日本へ緊急支援としてララ物資を送り出した米国のエキュメニカル組織でした。その後、救援活動の役割を終えて撤退し、それ以降、2011年まで日本に再び事務所を開くことはありませんでした。

2011年3月、バンコク事務所から被害状況を調査するために来日した小美野事務局長は、長い間、事務所を置いていなかった日本で頼ることができる団体がありませんでした。そんな時に訪ねた先が、NCC事務局でした。CWSは、NCCから2005年のパキスタン大地震、2008年のミャンマーで起きたサイクロン・ナルギスへの緊急支援として、多額の献金をいただいていた。そのような背景があったため、日本事務所開設当時にはNCCに大変お世話になりました。

NCCは、震災後間もなく、東日本大震災の被

災者支援を行うために、エキュメニカル震災対策室 (NCC-JEDRO) を立ち上げることになり、CWS Japanは、その被災者支援事業の運営をサポートするという目的で、NCCとMoU (覚書) を締結しました。その支援業務は、NCC-JEDROが解散する2015年まで続けました。JEDROは、NCC加盟教派が行う救援・復興・再建活動を支援していました。また、JEDROが設立された翌年には、CWSが加盟するACT Alliance (アクト・アライアンス) *にNCCも正式に加盟し、CWSと共にアクトフォーラム・ジャパンとしてパートナーシップを強化することに合意しました。

2015年のJEDRO解散後、JEDROの成果の一つであるエキュメニカルな連携協力を引き継いで行こうと、後継ネットワークとして、「日本災害エキュメニカル・タスクフォース(略称JETS)」がJEDRO関係者を中心に結成されました。そして、現在に至るまでCWSがその事務局を担っています。この度、正式にNCC准加盟団体となり、これまで以上にNCCとの連携協力体制を強め、活動を続けていきたいと、気持ちを新たにしています。

(文: プログラムマネージャー 牧 由希子)

*ACT Alliance (Action by Churches Together): ジュネーブに本部を置く、プロテスタント、カトリック、ギリシャ正教の連携によるキリスト教系国際援助組織



日本聖公会神田キリスト教会にて開催されたNCC総会